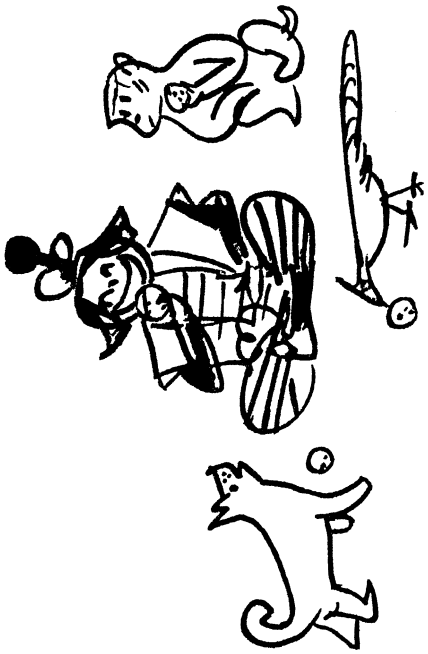
こぬだけでなく

さるに　　きじに、

ももだろうに

きびだんごも

もらいました。



©Adeamland

1）声を出してしっかり読ませ、内容を説明させる。
2）犬に続いて猿と雉もきびだんごをもらったのだと理解させ、「も」を適用させるのが望ましい。
3）[？]のくっつきを補完して、全文をマスに視写させる。
4）最後に、なぜ「さるも」なのか問うてみる。

a）読解と、短い話から「小さな物語」を感じ取る練習。
b）「助詞「も」と「に・が」の意識化。
c）視写。文字を連ねて文を綴る練習。

特定用具：不要

Date: